



扇小だより

考える子 思いやりのある子 強い子

令和8年度 第22号

52年目

「信」から創る

9月14日 児童数671名
人間市立扇小学校

未来を拓く若者の声から

学校長 村越 新

9月3日（木）、本校にて**初任行政フォローアップ研修**が行われました。府省庁に勤務して三年目の者 31 名が、学校の様子を学び、子供たちとも交流しました。その感想が届きましたので、一部を紹介させていただきます。



○話し合う、教え合う、**主体的**に学ぶ、難しかったら自分からヘルプをお願いしてみる姿勢に重点を置いているのは必要だと感じた。私は社会に出てからそういった自分の仕事のやり方を働きながら知っていったため将来を担う今の子どもにはぜひ**学ぶ機会**を大切にしていって欲しい。

○「児童の**自走**を目指している」というお話が印象的だった。幼少期に親や学校の先生が必要以上にルールを敷いてくれることで大人になって自分のやりたいことが見つからない人が多く、それが個人の**自己実現**を妨げていると考えていたので、小学校から子供が**主体的**に考えるようになる環境を整備することは良い。

○**自分の力**で判断をさせて、子供を伸ばしている点について、自分が大人になって足りないことを既に行っており、今後の**伸びしろ**に期待しかないと感じた。

○途切れることなく興味を持って**質問**が飛んできて、とても驚いた。自分から進んで質問しない子でも、こちらから話を振ってみると、何個も質問が出てきて、**考える力**はみんな持っているのだなと感心した。

○授業を見学させていただく中でも、児童の**考える時間**や発表の時間を重視されていると感じたし、学校全体でそういった取組が一貫されていると感じた。

○各クラスの先生たちが優しいにも関わらず、児童たちが**ふざけておらず**、挨拶も多くて礼儀正しく、私が小学校に通っていた頃よりもはるかに**躰**がなされているのが印象的だった。

○児童たちとのコミュニケーションの中で、児童から「毎日何時に帰ってくるのか」と聞かれたので、逆に児童たちの親御さんの様子を尋ねたところ、各家庭で本当に**多様な働き方**をされているのだということを気づかされた。



○先生方が**創意工夫**を凝らし、子供たちとの**信頼関係**を築いて、子供たちと接していることを感じ取ることができ、自分の仕事への刺激になった。

○児童のみなさんから**伸び伸びとした質問**がどんどん出てくこと、**キラキラした目**で自分の話を聞いてくれ、元気を分けていただいた！ また、名古屋市から来ている自分に対し、「**狭山茶**をお土産に買うといいよ！」と熱烈にアドバイスをいただいたので、帰り道に買って帰ろうと思う。**地元への愛着心**もはぐくまれている学校にほっこりした！

落ち着いた行動が命を守る



9月9日（水）、避難訓練を行いました。今回は、子供にも職員にも予行無での実施でした。雨で校庭も使えない状況なので、変則的な避難にしました（2，3，4年生が体育館に避難。他の学年は廊下で待機）。いつも以上の緊張感の中で、子供たちは落ち着いて行動していました。

訓練後の振り返りでは、「できた」と回答した子の率は思ったより高いものでした。

「おさない」ができた	95%
「かけない」ができた	89%
「しゃべらない」ができた	73%
「もどらない」ができた	93%

安全担当からは、自分の身を守るための`2つの準備、について話がありました。

① 心と頭の準備

- ・災害が起きたときの行動を知っておく
- ・災害が起きたとき落ち着いて避難できる心にしておく

② 普段から周りの人の話を聞く

- ・パニックになれば聞けないことになりかねない
- ・日常的に、話を聞いて行動できるようにしておく

★〈命に関わる失敗は、一度もしてはいけない〉

災害時の行動については、各ご家庭でも話題にしてみてください。「何をするのか」「どこに逃げるのか」「どこに集合するのか」「持ち物は何か」「住所や親の連絡先を覚えているか」などなど、知っているだけで身を守ることに繋がると考えます。